

## 災害の歴史

年	主な災害(共済金支払状況)
昭和21年	<b>村松大火(死者2人)</b>
	建物被害、全焼・焼損1,337棟、消失・焼損面積135,231㎡
昭和30年	<b>新潟市大火(行方不明者1人)</b>
	建物被害、全焼・焼損892棟、消失・焼損面積214,447㎡
昭和36年	<b>第2室戸台風</b>
	建物被害、全壊2,581棟、半壊1万8,145棟
昭和39年	<b>新潟地震(死者14人)</b>
	建物被害、全壊3,277世帯、半壊10,966世帯、床上・下浸水13,217世帯
昭和41年	<b>7.17の集中豪雨で水害</b>
	○水稲共済、支払共済金・約8億円の(過去第7位の額)
昭和42年	<b>8.28の集中豪雨で水害</b>
	(羽越水害・死者96人・行方不明者38人)
	建物被害、全壊1,069棟、半壊2,062棟、床上浸水1万5,214棟
	○水稲共済、支払共済金・約12億円(過去第5位の額)
	○家畜共済、多くの溺死事故が発生し本県初の異常事故
昭和51年	<b>低温、少照、多雨で冷害、いもち病多発</b>
	○水稲共済、支払共済金・約16億円(過去第3位の額)
昭和55年	<b>7月以降低温、寡照、山間地でもち病が多発生、高冷地で冷害</b>
	○水稲共済、支払共済金・約10億円(過去第6位の額)
昭和56年	<b>5、6月の低温日照不足、台風15号</b>
	○果樹共済、支払共済金・2億2,544万円
	全樹種(ぶどう、なし、かき)と、ぶどう樹体共済で異常災害。
昭和57年	<b>台風10号のフェーン風、台風18号の豪雨被害</b>
	○水稲共済、支払共済金・約13億円(過去第4位の額)
昭和58年 ～59年	<b>昭和59年豪雪(死者34人)</b>
	建物被害、全壊14棟、半壊5棟、床上浸水17棟、床下浸水188棟
平成 3年	<b>4月・晩霜、5月・降雪</b>
	<b>9月・台風19号</b>
	<b>(新潟地方気象台最大瞬間風速45.5m/s観測史上最大)</b>
	○果樹共済、全樹種に被害が発生、支払共済金・2億5,822万円
	○園芸施設共済、過去最高の金額被害率、支払共済金・1億8千万円、金額被害率・4.9%
平成 5年	<b>全国的な大冷害(記録的な低温・少照)</b>
	<b>新潟県の作況指数89「著しい不良」</b>
	○水稲共済・支払共済金・約24億円(過去第2位の額)
	○大豆共済、過去2番目に高い金額被害率・10.5%
	○果樹共済、結実不良、異常落果が発生
	<b>8月・台風11号、9月・台風13号等</b>
○果樹共済、落果被害が発生、支払共済金・2億2,029万円	
平成 8年	<b>4月・記録的な降雪、6月、8月・強風、9月・低温等</b>
	○果樹共済、全樹種で被害が発生、支払共済金・1億7,160万円
平成10年	<b>集中豪雨(新潟市の日降水量265mm)、台風5号、7号、10号等</b>
	○園芸施設共済、支払共済金・1億8千万円、金額被害率・2.8%

平成16年	<b>7. 13梅雨前線豪雨(死者15人)</b>
	建物被害 全壊70棟、半壊5,354棟、床上浸水2,141棟
	<b>相次ぐ台風襲来(6号、15号、16号、18号、21号、22号、23号等)</b>
	○水稲共済、支払共済金・約27億円(過去最高額)
	○大豆共済、過去最大の被害、
	支払共済金・2億9,163万円、金額被害率・20.6%
	○果樹共済、収穫共済全樹種で異常災害、制度始まって以来最高の
	支払共済金・4億1,646万円
	○園芸施設共済、過去最高の支払共済金・1億9千万円、金額被害率・2.6%
	<b>中越大震災(死者67人)</b>
	建物被害 全壊3,175棟、大規模半壊2,166棟、半壊1万1,638棟
○建物共済、震災関係支払共済金約24億円	
山古志村全村避難、取り残された牛を陸・空から救出。	
○家畜共済、震災関係支払共済金・約2,380万円	
平成19年	<b>中越沖地震(死者11人)</b>
	建物被害 全壊1,244棟、大規模半壊824棟、半壊4,423棟(10月15日現在)
平成22年	<b>水稲登熟期の記録的な高温、少雨による品質低下被害</b>
	○うるち米一等級比率が過去最低の21%
	○水稲共済品質方式の支払共済金は約4億円(平成16年の導入以来最高額)
	宮崎県で口蹄疫が大流行
平成23年	<b>平成23年7月新潟・福島豪雨(死者4人)</b>
	建物被害 全壊41棟、半壊808棟、一部損壊31棟(平成23年12月28日現在)
	○水稲共済、支払共済金・約8億円(過去第8位の額)
	○大豆共済、過去2番目の被害
	支払共済金・1億4,173万円、金額被害率7.4%
	○果樹共済、ぶどう、なし、ももに甚大な被害
	6月下旬の多雨、日照不足により、かきで異常な落果被害が発生
	支払共済金・1億7,039万円
<b>長野県北部地震</b>	
建物被害 全壊29棟、半壊258棟、一部損壊2,088棟(平成24年3月9日現在)	
平成24年	<b>4月の爆弾低気圧(佐渡市最大瞬間風速43.5m/秒)</b>
	○園芸施設共済、支払共済金・過去最高の2億4千万円、金額被害率3.1%
平成25年	<b>記録的な多雨により、そば共済で過去最大の被害</b>
	○そば共済、支払共済金・2,958万円、金額被害率28.8%
平成27年	<b>8.25~26日の台風15号(風害)、9.9~10日の台風18号(水害)による被害</b>
	○水稲共済、支払共済金・約11億円 下越北地帯の作況指数91「不良」
	<b>4月の降霜、8月の台風15号、病害によりなしに甚大な被害</b>
○果樹共済、支払共済金・1億2,581万円	
平成30年	<b>7月~8月の高温少雨、8月の強風、台風21号等</b>
	○水稲共済、支払共済金・8億4,037万円 佐渡の作況指数86「著しい不良」
令和元年	<b>水稲出穂後のフェーン、出穂前後の長期にわたる高温により品質低下被害</b>
	○コシヒカリ一等級比率が25.7%
令和2年	7月の多雨、8月移行の高温少雨により大豆共済で過去2番目の被害額
	支払共済金1億7,307万円、金額被害率12.8%
	12月、1月の記録的な豪雪
	園芸施設共済で支払共済金2億2千万円、金額被害率2.0%